

**令和6年度 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業
審査結果表**

大 学 名	関西大学	タイプ	I：地域等連携型
プログラム名	大阪・チェンジメーカーズ：課題主導の社会的インパクト共創教育プロジェクト		
連携大学等	大阪公立大学		

〔評価コメント〕

本プログラム計画は、大学の特徴や設置形態が異なる私立大学と公立大学が、社会との連携というキーワードでつながり、双方の長所を生かした連携体制を構築し協働するプログラムが計画されており挑戦的である。大学外部との関係においても、これまで蓄積してきた地元企業・地方自治体を巻き込んだ、産学官が一丸となった多文化共修プログラムであることに加え、海外ネットワークの戦略的・効果的な活用により、正課内外の多文化共修活動と日本人学生の派遣や外国人留学生の受入れ及び出口支援を連動させながら、ホスピタリティ分野を中心とした社会課題に挑む、イシュードリブな教育手法が採用されており、高く評価できる。

また、優秀な外国人留学生の日本への定着を目指し、外国人採用を積極的に進める企業と連携し、専門的知識や技術の習得、向上を目指した大学院進学へとつなげる支援体制を構築する計画を有する点は重要である。

さらに、コロナ禍での国際交流の場を、100%オンラインのプログラムとして対策を講じられた実績や、両大学が協働して取り組んできた外国人留学生の就職支援や、共通項である COIL 型教育による多文化共修教育等を本プログラムによりさらに進化させるものとなっており、着実な成果が期待される。

一方で、両大学の連携によるシナジー、コラボレーションの効果を含め、プログラムの具体的な内容や、その焦点がどこに置かれているのか、また、それらの学びにより得られる素養はどのように涵養されるかという点が読み取りにくいいため、更なる検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、世界や地域の課題解決に資する人材を育成するため、多文化共生社会の実現を牽引し、さらに多文化共修による教育研究活動を、国内外の課題解決策の提案や社会実装の先にある「ソーシャルインパクト」の創出につなげていくことを強く要請する。